



1960-2010

한청통신

韓 青 通 信

2010年5月号

今号のラインナップ: 「韓青 50 年・若き獅子たち運動全国宣布式」報告 / 盟員の声「韓青 50 年・若き獅子たち運動宣布式に参加して」 / 活動報告 / 情勢 NEWS / 支部紹介「日々是は んちゃんー三重県本部四日市支部」 / 今後の予定 / 編集後記

「韓青 50 年・若き獅子たち運動」が本格的に始動！



今年結成 50 周年を迎える韓青は、組織結成を大きく促進させた 4 月革命の 50 周年を契機に「韓青 50 年・若き獅子たち運動」をスタートさせました。広島県本部は 4 月 24 日（土）に本部事務所で、25 日（日）には関東地協が都内で、中部地協は四日市市内で、近畿地協は大阪市内で、韓統連、女性会、学生協とともに開催した「4 月革命 50 周年記念・在日韓国人集会」に先立ってその宣布式を開催しました。

この運動は、年末に開催される「韓青結成 50 周年記念行事」に向け、「韓青の今」である私たちが愛国伝統に恥じない「若き獅子たち」となるために、青年らしい情熱で実践と学習を展開しようとするもので、各地域の宣布式では共通の決議文を通して、今後の活動への決意を共有しました。

決議文では、自主・民主・統一を希求する闘争の第一段階の決定的な勝利が『在日韓国青年同盟』の結成であったこと、韓青の 50 年は民族史に誇る愛

国闘争の歴史であったことを整理した上で、韓青の「歴史・今・未来」を正しく繋ぐことが極めて重要だと指摘しました。そのために、私たち自身が「韓青の今」を表現できる主体となるために、4 月革命精神と、韓青結成理念、韓青 50 年の愛国伝統を継承することを確認しました。

各地域では、それぞれで趣向の凝らした宣布式をおこない、今年度の運動に向けた参加者の決意を一層高めるものになりました。

近畿地協では、4 月革命の現代的意義と今年一年の運動方針をパワーポイントで解説した後、近畿地協のサムルノリ隊の名称を投票で決定しました。（「カラッシジャン」＝リズムの市場）。今後はこの名称が書かれたのぼりを掲げ、サムルノリを演奏しながら街頭情宣をおこなっていく予定です。

中部地協では、本常委らによるアンサンブルもあり、映像とメッセージ、ノレ（韓青同のうた、4 月若き獅子たち）を通して、4 月革命の概要を全体で共有しました。

各地の宣布式では、多くの青年が決意表明をおこない、反統一的で反民主的な現在の李明博政権に対する怒り、特に韓青の代表団が当局の不当な処置によってソウルでおこなわれた「4 月革命 50 周年合同参拝式」に参加できなかったことへの憤りを強く訴えました。

その上で、年末の 50 周年行事を、統一新時代の幕開けとすることを誓い合いました。



「韓青 50 年・若き獅子たち運動」 宣布式に参加して

愛知県本部 チョ・ジョンチュン

今回 4 月革命から 50 年、韓青結成から 50 年ということで、僕なりにこの 50 年間の歩みがどうだったのかを考えてみました。

50 年前、当時の韓国独裁政権に声をあげて立ち上がった学生たちのことを思うと、この革命をきっかけに結成され、祖国の自主統一に向け、社会の矛盾に声をあげて運動してきた韓青は、常に祖国の青年とともにあるのだと思いました。

それは、韓国にとって、在日同胞にとって、とても大きな成果だと思いました。

しかし、現在の韓国は、李明博政権の下、歴史的な 6.15 南北共同宣言や 10.4 宣言が守ろうとされず、民衆の声は踏みにじられ、まさに当時の独裁政権そのものだと思います。

僕はこのような祖国の情勢に危機感を覚えながらも、必ず祖国に平和統一してほしいという願いがとても強くなりました。

それは韓青に参加して、頑張っている先輩方や仲間たちを見たときにそう感じ、自分も韓青の中で何かをしたい、何かをするべきだと考えました。

今の僕にできること、それは、まず支部常任委員となって、歴史や情勢に目を向け、仲間とともに韓青の運動に参加していくことだと思いました。

少しずつではあるけれど、この思いを忘れず、韓青結成 50 周年記念行事を必ず成功させられるよう、努力していきたいと思います。

韓青OB・OGのすべての力をひとつに！

「韓青結成50周年記念行事」を成功させるための「相談会」のご案内

この度、韓青中央からの要請を受け、右記のように「相談会」を開催したいと思います。韓青OB・OGの力を合わせて、「韓青結成50周年記念行事」を大成功させましょう！

日 時：6月20日（日）16：00～
場 所：名古屋（詳細はお問合せ下さい）
参加費：5,000円（懇親会費込み）

呼びかけ：「韓青50周年を祝う会」（準）委員長 慎忠義（韓青東京本部・初代委員長）
問合せ先：韓青中央本部（TEL. 03-5823-0815）



僕が韓青京都の門を叩いてから早 2 年半。2 年半といえは短いようですが、その間僕は、日本社会ではできなかったさまざまな経験をすることができました。

日常活動の中で、多くの仲間と酒を飲み、祖国や在日同胞の未来について語り合いました。ウリマルやセミナーを通じてウリナラの言語、文化、歩んできた歴史など、たくさんのことを学ぶことができました。キャンプや全国集会では、仲間と共有できる時間、そして想いが、自分にとっていかに大きなものであるかを感じました。初めて訪れた祖国では、韓青京都が姉妹結縁を結んでいた京畿青協の仲間とのあたたかい交流に感激しました。

短くても、濃密な時をともにしてきた仲間……。

そんな大切な仲間たちが、国内においては、李明博政権の露骨な弾圧に苦しんでいる。非常に残念であり、怒りが湧きます。また、僕たちが在日同胞も苦しんでいます。日本社会が、在日同胞に向けてもたらず、さまざまな不条理、不利益に。

僕たちは、より良く生きたいだけなのに、なぜ弾圧されなければならないのでしょうか？

多くの仲間と手を取り合うことを、なぜ邪魔されなければならないのでしょうか？

なぜ「在特会」のような連中が、公然と、同じ人間である僕たちを差別し、抑圧しようとするのでしょうか？

多くの同胞たちがそんな社会の中で、傷を受けた苦しみに、やり場のない怒りに、何もできないもどかしさに、さいなまれ続けているように思います。

僕たちは積極的に活動することで、そんな社会の不条理を取り除かなければなりません。そのためにはもっともっと、仲間を集め、強く団結しなければならないと思います。

韓青結成のきっかけとなった 4 月革命では、僕たちと同じ世代、そしてさらに若い人たちが、犠牲になりながら、韓国の民主化の大きな原動力となりました。僕たちも彼らの精神を学び、そして受け継ぎ、もっと精力的に活動していかなければなりません。

僕は韓青結成 50 周年というこの年に、もっと多くの仲間たちと固く手を握りあい、進んでいこうと思います。



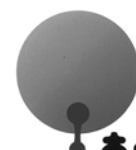
韓国語教室
「ムグンファ」

見学・体験レッスン随時受付！

担 当：金梨恵 (キム・イヘ)
080-6510-1973

韓国語教材専門インターネット書店

ハングルの森



Internet Bookstore

한글의 숲

<http://www.rakuten.co.jp/eac-hg/>



「韓青 50 年・若き獅子たち運動」 宣布式に参加して

東京本部 コ・チルリ

私が本常委になって2年が過ぎました。なりたての時は、韓青活動に対して希望と期待に胸を膨らませながら活動を楽しんでいましたが、活動する上で不安や悩みで壁にぶち当たる時もあり、そんな中、助けてくれたのが韓青の仲間たちでした。それを期に色々な事を考えるようになり、本常委として・・・ただの名前だけではない・・・活動の中で「コ・チルリ」という人の生き方こそが主体的に生きる存在であるということ意識し始めました。

私には活動する中で尊敬する人物がいます。朴正熙独裁政権下での過酷な労働状況を変えるために闘い、焼身自殺をした全泰壹烈士です。彼の日記の中に「人生とは、よりよい明日のために努力するものだ」と書いてありました。活動の中で自らの成長と、よりよい明日を作ること。また、私たちの理想とする社会を作る事で、理想の自分、社会、未来を作り真の生き方を作りだすことを学びました。私自身も全泰壹烈士のような、活動をしていきたいと思っています。

韓青活動を通して、自らの人生を主体的に生き、民族の未来を切り開いていくことこそが私たちの使命だと思います。韓青は誕生して以来、祖国とともに民族とともに、自主・民主・統一運動をいつも先頭にたって汗を流し、血を流しながらも闘ってきました。祖国と民族の歴史を作ってきた先輩方の事を思うと胸が熱くなります。そんな先輩方がいなければ、私自身ここにいません。先輩方のように自分を犠牲にして血を流すことは難しいかもしれませんが、在日韓国人である自分、そして韓青を選んだ自分に誇りを持って活動していきたいと思っています。

4月革命50周年にあたる今年、韓青結成50周年を迎えます。今回提起された「韓青50周年・若き獅子たち運動」を全力で貫徹し、より多くの同胞青年との大きな輪の中で韓青50周年行事を迎え、その場を統一新時代のスタートとしていきます。「韓青の若き獅子たちとなろう」「韓青の若き獅子たちを作ろう」「韓青の若き獅子たちを探そう」というスローガンを胸に刻み、民族の真の解放のために、自らが時代を切り開く主体者となれるように活動が続けていきたいです。

4月革命は「未完の革命」だと言われています。私たちは「未完の革命」を完遂し、4月革命の英霊たちに全身で私たちは応えていかなければなりません。祖国の統一なしには、全体民族はもちろん在日同胞の解放はないと思います。私たちは自主・民主・統一の旗の下で固く団結し、自主的民主政府の樹立、そして南北祖国の平和統一を実現していかなければなりません。それが私たちに与えられた民族史の使命であるのです。このことを胸に深く刻み、4月革命精神と逆行する李明博政権による不当な弾圧や抑圧をはね返し、年末の「韓青結成50周年記念行事」を大成功させ、統一新時代の幕開けとしたいと思っています。

炭火焼肉・韓国酒家 ビヤンド

<http://www.biyangdo.com> ～飛楊鳥～

〒108-0014 港区芝 5-22-6 TEL 03-3453-2383

☆ご宴会・ご会合に2・3Fのお座敷をご利用ください

(各階40名様まで)

焼肉 晩 翠

ばんすい

〒108-0014 東京都港区芝 5-23-10
TEL & FAX 3452-0061

活動紹介

春期ウリマル開講式開催



春も本格化してきたゴールデンウィーク明け、全国各地で恒例行事である「春期ウリマル開講式」が開催されました。東京、愛知、三重、の3本部が5月9日（日）に、神奈川、京都、大阪、兵庫の4本部が12日（水）、広島県本部は13日（木）にそれぞれの本部や会館などを利用して、開催いたしました。

東京本部は、ウリ民族文化を楽しんで習得すべく、ノレ（歌）指導を積極的に取り入れ、また、模擬授業では数字を使った表現を実践会話形式で練習するなど、参加者のおうせいなウリマル学習意欲も手伝って、熱気あふれる開講式となりました。

また、三重県本部は、ウリマル教室の案内とともに、この開講式から全国一斉にスタートする「韓国現代史学習会」の開催をアピールし、参加を呼びかけるとともに、ゲームを交えながらウリマルを楽しく学びました。終了後は愛知県本部と合流し、公園で野遊会を行い、楽しく交流しました。

今回の開講式から新しくウリマルを受講するメンバーも、開講式・交流会を通じて仲間たちと打ちとけ、リラックスできたようです。これから半年間、ウリマル学習をがんばることを参加者全体で共有しました。



東京本部が40周年記念式典を開催。

東京本部結成40周年記念式典が3月28日、都内のホテルで開かれ、韓青東京本部の盟員やOB・OG、韓統連、民主女性会、日本の市民団体のメンバーが多数参加しました。

オープニングの東京本部メンバーの力強い民族楽器の演奏のあと、初代委員長であり、「祝う会」呼びかけ人の慎忠義代表が主催者あいさつを行った後、韓青中央本部の文世賢委員長が壇上に立ち、12月5日に開かれる「韓青結成50周年記念行事」を念頭に、韓青の結成とその後の半世紀の活動が民族史上において極めて重要な役割を果たしてきたことを紹介しました。その上で、「年末の行事を『韓青の先輩方』と『日本の友人』と『韓青の現役』が再結合することで、『韓青の歴史』と『韓青の今』と『韓青の未来』を正しく結び、希望に満ちた次の半世紀を切り拓きたい」と抱負を述べました。

祝杯のあとには、久しぶりに再会したOB・OGと現役らがなごやかに歓談しました。40年間の東京本部の歴史をまとめたスライド上映をはさみながら、東京本部の歴代委員長をはじめとした先輩方からあいさつをいただき、東京本部での当時の運動を振り返りながら熱い思いとともに、現役の青年へあたたかい激励をくださいました。また、東京本部の文化発表では、「韓国併合」100年と在日同胞の苦難と闘いの歴史を、スライドや歌や詩の朗読を通して表現し、参加者に大きな感動を与えました。徐崇・東京本部委員長が「これからも、東京の地域で在日同胞青年とともに民族的に生き、祖国統一のために闘っていく」と決意を述べました。

最後に、梁炳龍・韓統連東京本部代表委員が「年末に予定されている『韓青結成50周年記念行事』に総結集しよう」と呼びかけてしめくくられました。



情勢NEWS

＜李政権が「天安」惨事を悪用＞

3月26日、韓国海軍哨戒艦「天安」が西海上の北方限界線（NLL）付近で爆沈し、乗組員104名のうち46名が犠牲となる痛ましい惨事が起きました。

「直接的な北の関与の可能性は少ない」としていた李明博政権ですが、国内保守言論が流布する「北の陰謀論」を否定していないことで、「北の脅威」を利用しようとする「南の陰謀」が見てとれます。

李政権は爆発原因を究明するため事故直後に「軍民合同調査団」を組織しましたが、この「軍民合同調査団」の人員の大部分は軍関係者で、軍当局の管轄下の組織というのが実態です。当然組織の体系や調査内容などは機密扱いとされ、公に出されるべき情報も公開されません。事実船体引き上げでは艦の切断面が大型幕で隠され、詳しい船体被害の様子も明らかにされませんでした。

このように、証拠が不確定な状況であるにも関わらず、李政権は「北の脅威」を匂わせています。

また、「天安事件を契機に作戦統帥権移管を再検討する必要性が高まった」として韓米同盟、安保体制を強化しようとしています。

このような一連の動きの背景には、6月2日におこなわれる統一地方選挙に悪用しようという意図があると思われます。自身の行っている、歪んだ対北政策を正当化させ、窮地に陥っている保守陣営の勢力を盛り返すことが最大の狙いでしょう。痛ましい惨事を利用し、南北関係悪化の原因を北に押し付け、対北圧迫を繰り返そうとする李政権の姿は6・15宣言の発表から10周年となった今、非常に反民族・反統一的で時代錯誤なものといえることができます。

しかしながら韓国国内では、このような李政権の対応に多くの市民社会団体を中心として、激しい批



↑天安引き上げの様子。切断面が幕で覆われている。

判の声が上がっています。多くの専門家も外部爆発の可能性は希薄であるとし、北の魚雷攻撃が原因だとする見解に信憑性がないとの声も大きくなってきています。

今回の惨事を「北の陰謀」として処理しようとする李政権の姿勢は、過去の軍事独裁政権が行ってきた手法と同じであり、朝鮮半島を再び戦火に包みこみかねないような事態を引き起こしているといえます。

そもそも2007年の10・4共同宣言で盧武鉉前大統領と金正日国防委員長は、西海平和協力特別地帯を設置し、偶発的衝突防止のために共同漁労水域を指定、平和水域とするための方案に関する軍事的保障措置問題などを協議することに約束していました。

しかし、李政権がこれらの南北合意を反故にしてきました。李政権が10・4宣言履行に努力したならば、西海上で海軍哨戒艦である「天安」艦が対北政策として配備されることもなく、惨事も起こることとはなかったはずですが。李政権が今回の惨事を二度と繰り返さないためには、対北強硬路線を突き進むのではなく、6・15宣言と10・4宣言に従い南北和解と協力の道を進むほかないのです。

私たちは今回の惨事を6・2地方選挙のため悪用しようとする李政権の横暴を決して許しません。そして李政権が6・15宣言と10・4宣言を履行し、正しい南北関係を構築していくことを今後も強く求めていきます。

日々是はんちゃん

全国支部紹介

Vol.12 三重県本部（四日市支部）

アンニョンハシムニカ？ 今回の「日々是はんちゃん」は個性豊かなメンバーが集う三重県本部・四日市支部の登場です。

◇ 四日市はこんな街！

JR 四日市駅から徒歩5分。山下ビル3階に韓青四日市支部（韓青三重県本部と同じ場所）があります。四日市といえば公害のイメージが強いですが、そのとおりです。一歩外に出ると、煙をモクモクと出した煙突がたくさん見えます。それでも三重県の中では上位の都市なので、まだ「街」感があります。ちなみに四日市には、JR 四日市駅と近鉄四日市駅があります。にぎわってるのは、近鉄四日市駅のほうです。JR 四日市駅は、静かです。そんな静かな環境の中、日々活動を行っています。

◇ 水曜日には充実のウリマル授業！

日常活動は毎週水曜開催のウリマル学習会が中心。四日市支部のウリマル学習会は、講師のレベルが高いです。講師陣は、留学経験のあるアン・チェヒャンさんとソン・イルチンくんと民族学校出身のチャン・ウチギくんという顔ぶれ。最近の受講生では、アン・パッキくんをはじめとする多くの四日市同胞青年が非常に熱心に勉強しています。講師も熱が入ってしまうくらい、受講生もみんな熱心に勉強しています。授業ではノレ指導（歌の指導）もあり、K-POPなどの耳に馴染みやすい曲から、韓青活動での必須アイテムともいえる熱い闘争歌、民族の叫びの民謡まで、幅広く歌いまくっています。本当に同世代の仲間たちで、ゲラゲラ笑いながら学習会を行っていますので、この記事を読んだ四日市周辺に住む在日同胞青年のみなさん！ぜひぜひ、一度来てみてくださいねー☆

◇ 金曜日にはセミナー、文化サークルを開催中！

毎週金曜日には各種活動が開催されます。「なぜ韓青に集っているのか？」「なぜ主体的に活動に参加するようになったのか？」「在日韓国人って何だろう？」などをテーマにした討論会や、私たちのルーツである朝鮮半島がどんな状況なのか、どんな歴史を経ているのか、在日同胞の現状や周辺環境はどうなっているのか、などを学ぶ青年セミナー。そして文句なしに楽しい民族楽器や民謡、舞踊などの練習を行う文化サークルも開催していきます。



文化発表をする四日市メンバー

もちろん、これらの活動の他にスポーツ大会や交流会（飲み会）など、たくさん企画していますので、こちらにも是非とも遊びに来てくださいねー☆

PICK UP! ◎ 夏だ～海だ～！ サマーキャンプ2010



韓青の夏のビックイベント／『第44回韓青全国夏期講習会』
- サマーキャンプ2010を今年も開催します！

概要は以下の通りですが、今年も若さあふれる在日同胞青年の
力で、熱さあふれる民族の情熱で、トビっきりのステキな空間を
参加者全体でつくりあげたいと思います。

しかも、今年は全国単位の海水浴場で開催するサマーキャンプとなりました！

参加ご希望の方は大至急連絡を！ 興味ある方も大至急連絡を！ とにかく同胞青年は連絡をください！

日 程： 7月30日（金）～8月1日（日） ※地域によっては木曜日の深夜出発

場 所： 愛知県・知多半島

参加費： 一般26,000円 高校生22,000円（盟員は1,000円引き）

※地域によっては、格安になる場合がありますので、お問い合わせ下さい。

お問い合わせの番号は、**0120-734-101**

【第17回統一マダン生野】

日 時： 2010年6月6日（日）正午から4：00（屋台は11：30開店）

場 所： 今里新地公園 【雨天決行】【入場無料】

主 催： 第17回統一マダン生野実行委員会

後 援： 6・15共同宣言実践日本委員会

北側オリニ栄養パン工場・大阪事業本部

【第14回統一マダン神戸】

日 時： 2010年6月6日（日）11時～17時（ステージ12時～）

場 所： 若松公園（神戸市長田区JR新長田駅）【雨天決行】【入場無料】

* 鉄人28号モニュメント横（JR新長田駅から徒歩5分）

主 催： 統一マダン神戸実行委員会

後 援： 6・15共同宣言実践日本委員会

兵庫県 神戸市 長田区 神戸新聞社 サンTV

北側オリニ栄養パン工場・兵庫事業本部



編・集・後・記



今回号から担当になりました（徐）です。まだ慣れないところもいっぱいあり、四苦八苦しています。
さて、あっという間に春が来て、最近では夏を感じる日々もおおくなってきました。夏といえば暑いのは当たり前ですが、今年はいったいどのようなゲリラ豪雨がおこるのかも心配です。今年とはとくにおおくの街頭情宣と署名活動を展開予定なのでゲリラ豪雨との勝負です。（笑）・・・（徐）